

学校教育目標	「豊かにつながり たくましく とともに輝く子」 (知) 主体的に取り組み、関わりの中で自分の考えを深め、豊かに表現する力を育てます。 (徳) 自他のよさを見つけ、認め合い、夢や目標をもって生きる力を育てます。 (体) 心身ともに健康で、楽しく安心な生活を、実践していこうとする力を育てます。 (公) まちとの関わりを大切に、地域や社会の中でともに支え合う力を育てます。 (開) 多様な価値観や個性を尊重し、広い視野をもって新しい社会を創造していくことができる子を育てます。				
	創立 55 周年 児童生徒数: 441 人	学校長 岩澤 尚彦 主な関係校: 谷本中学校	副校長 小山 進治	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	谷本中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自らを育て創る能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉	谷本中学校 藤が丘小学校 さつきが丘小学校 谷本小学校	笑顔であいさつ～自分を認め、相手を認め～ ・人・もの・ことのかかわりを通して、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども(言語活用能力) ・人と豊かにかかわり、自他を認め合いながら、ともに学ぶ子ども(認め合う力)

中期 取組 目標	社会に開かれた教育課程の創造 ～変化に対応したカリキュラム・マネジメントの推進 ○子どもの主体的な学びを実現するために、自ら問題を見出し、協働して解決を図る学習過程を重視した教職員の指導力向上を目指します。 ○豊かな心を一層育むために、表現活動や交流活動を重視し、互いに認め合う心や自尊感情を高め、自信をもてるようにします。 ○児童理解に基づいた特別支援教育及び児童指導を全教職員の共通理解のもとに推進し、だれもが安心して学校生活や学習ができるようにします。 ○学校運営協議会、つつじが丘小学校サポーター組織、PTA組織の連携・協力のもと、教育活動を充実させます。 ○校舎建替に向けて、児童のさらによりよい教育活動を保障する学習環境となるように関係機関と検討を重ねていきます。(令和8年度竣工予定)
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 研究・研修部	①学習展開の工夫を行い、子どもの学ぶ意欲を高める。②各教科・領域において、言語活動の充実を図り、活発な意見共有を通して、各教科の資質・能力を育成するとともに、コミュニケーション能力を高める。③朝学習を活用し、基礎基本の定着を狙いとした反復練習を自主的に行えるようにする。
徳 豊かな心 担当 人権教育部	①道徳教育を充実させ、規範意識を高め、よりよく生きようとする心を育てる。②縦割り活動を通して、異学年での交流を深める。③授業の中で自尊感情を育てる。④情操教育を通して、感性豊かな心を育てる。⑤地域の一員であることを自覚し、地域とのつながりを大切にしようとする態度を育てる。
体 健やかな体 担当 体育部	①食教育を豊かに展開し、食と健康についての知識理解、生活態度の向上を図る。②養護教諭と連携しながら、保健指導や児童保健委員会の活動を充実させる。③一校一実践運動で、横浜市体育協会と連携してジュニアスポーツを実施し、運動を楽しみながら体力づくりをするようにする。
公開 人材育成の推進 担当 教務部	①メンターチームとミドルリーダーの連携を図り、メンターチームの実践の幅を広げたり、必要感のある研修を継続したりし、若手教員の育成につなげる。②重点研究会を中心に、全職員で授業力・指導力の向上に努める。③教科分担制をいかし、教材研究や授業準備を能率的に行ったり、指導法の学び合いを進めたりする。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①「心のポスト」や「先生あのねタイム」「生活アンケート」等を活用し、いじめの早期発見を図る。②「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を活用し、子どもの実態を把握するとともに、授業づくりや集団づくりを進める。③いじめに関しては、絶対に許されない行為であることを全職員で共通理解をして対応すると共に、取組みのようすについて保護者へも発信していく。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部	①ミドルリーダーとメンターチームの連携を図り、必要感のある研修を継続し、若手教員の育成につなげる。②教科分担制をいかし、教材研究や授業準備を能率的に行ったり、指導法の学び合いを進めたりする。③校内業務の精選を行い、スリム化やペーパーレス化を図り、働きやすい環境を作る。④定時退勤日の確実な設定と実施をする。
児童指導 担当 児童指導部	①日頃から学年や児童支援専任と連携して、チームとして情報共有につとめ、月一回の児童指導委員会や職員会議において、全職員で児童についての共通理解を図る。②「子どもの社会的スキルプログラム」を活用して、よりよい学級集団を築き上げていく。③つつじスタンダードを実態に合うものにし、児童の規範意識を向上させていく。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用し、短期目標と長期目標を立て、個々のニーズに対応できるようにする。②学校カウンセラーやSSW、外部機関との連携を通して、個々に応じた適切な支援をする。③特別支援教室(おひさまルーム)の取組について、保護者への発信を行い、周知できるようにする。
保護者・地域連携推進 担当 地域連携部	①地域学校協働活動推進員との連携により、サポーター・外部人材の活用や教育環境整備等を進める。②地域交流イベントを地域と共催で行い、子どもたちが他世代との交流をとおし、地域への愛着を深めるようにする。③学校運営協議会を開催し、「まち」とともに歩む学校づくりを進める。
自立する心 担当 総合・生活部	①自らの課題と成長を捉え、目標をもって物事に取り組むための指導・支援を行う。②「横浜の時間」を中心に、人とのかかわりを通して、自他の違いを受け止めながら、共感的に理解したり、合意形成をしたりして、共に生きていく力を育む。③「横浜の時間」を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、地域とのかかわりの中で一人ひとりの自己有用感を高めるようにする。